

WEEKLY SIGNAL

平成30年4月6日(金) 1419号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	4/9(月)	4/10(火)	4/11(水)	4/12(木)	4/13(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券	+ 1,000	+ 1,000	ト ン	ト ン	△ 1,000
財政他	△ 4,900	△ 3,000	+ 3,000	△ 2,000	+ 78,000
資金需給	△ 3,900	△ 2,000	+ 3,000	△ 2,000	+ 77,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)	国庫短期証券発行・償還(6M)		源泉税揚げ	年金定時払い
オペ期日	国債補充供給 + 100 共通担保(全店) △ 2,200				
オペスタート	ETF買入 + 1,000 共通担保(全店) + 1,600	国債買入 + 6,300 CP等買入 + 2,500			
(日本)	国際収支(2月、財務省) 消費動向調査(3月、内閣府) 景気ウォッチャー調査 (街景景気3月調査、内閣府)		機械受注(2月、内閣府) 貸出・預金動向(3月、日銀) 企業物価指数(3月、日銀)	地域経済報告(4月、日銀) マネーストック(3月、日銀) 日銀営業旬報 (4月10日現在) 日銀が保有する国債の 銘柄別残高 日銀による国庫短期証券の 銘柄別買入額	
(海外)	IMF、世界経済見通し	米 卸売在庫(2月) 米 グラス連銀総裁の講演	米 CPI(3月) 米 財政支出(3月) 米 FOMC議事録 (3月20、21両日分)	米 輸入物価指数(3月) 米 新規失業保険申請件数 (7日終了週) 米 ミネアポリス連銀総裁の講演 ユーロ圏 鉱工業生産(2月)	米 求人件数(2月) 米 シカゴ大学消費者マインド指数 (4月、速報値) 米 ボストン連銀総裁の講演 米 セントルイス連銀総裁の講演 米 グラス連銀総裁の講演

[インターバンク市場]

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.060
SPOT 2M	△0.030 ~ 0.060
SPOT 3M	△0.030 ~ 0.060
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.120

<インターバンク>

日銀当座残高は週初378兆4,700億円から始まり、5日には財政等要因などにより375兆8,700億円まで減少した。その後は国債・国庫短期証券買入オペを主因に増加し週末には377兆9,900兆円となった。無担保コールON物の加重平均金利は週初△0.067%から始まった。その後、徐々に基礎残高・マクロ加算残高の調整を目的とした調達ニーズを主因に上昇し、6日には△0.059%となった。ターム物は1W~1M物を中心に、主に△0.05%~△0.03%の出合がみられた。2日、日銀が発表した3月の短観によると、大企業・製造業の業況判断DIは、前回調査(2017年12月調査)に比べ2ポイント低下の+24となり、8四半期(2年)ぶりに悪化した。来週は、国内では日銀地域経済報告(12日)、海外では、FOMC議事録公表(11日)、米CPI(11日)等が予定されている。

[オープン市場]

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.150 ~ △0.135
現先(on/1w)	△0.100 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行総額は約5,800億円で、週間償還総額の約1,300億円から増加した。期明け、商社や鉄鋼を始め一般事業法人の復活発行案件が見られた。週末の発行市場残高は、14兆5,000億円強になった模様。発行レートは、ディーラーや投資家の購入ニーズが強く、引き続きマイナス圏内の出合いが続いている。5日に、CP等買入れオペが予定通り2,500億円度でオファー(4/10スタート)された。オファー額の大幅な減額(前回比△2,500億円)を受けて、按分レートは△0.007%と前回比△0.031%上昇する結果となった。来週の償還総額は、約1,900億円となっている。五・十日発行と一般事業法人の復活発行が見込まれ、活況が予想される。発行レートは、ディーラーや投資家の運用ニーズが根強く、引き続きマイナス0%近辺の出合いであろう。12日に、CP等買入オペが2,500億円程度オファーされる予定。

<TDB>

今週は、国庫短期証券の入札が計3回(3M第748回、3M第749回、6M第750回)行われ、総じて前回入札分より利回りが上昇する結果となった。それぞれの入札結果は、以下の通り。
3日入札3M第748回: 募入最高利回り△0.1326%、募入平均利回り△0.1393%(前回3/22入札: 募入最高利回り△0.1503%、募入平均利回り△0.1587%)
5日入札3M第749回: 募入最高利回り△0.1303%、募入平均利回り△0.1355%
6日入札6M第750回: 募入最高利回り△0.1534%、募入平均利回り△0.1594%(前回3/7入札: 募入最高利回り△0.1543%、募入平均利回り△0.1623%)
週末のセカンダリー市場は、3M物が△0.14%近辺、6M物が△0.17%近辺で出合が見られた。来週は、12日に3M物の入札が予定されている。

<レポ>

足許GCは週初△0.14%~△0.15%から始まり、短国3Mの発行日である5日受渡しは△0.10%~△0.11%まで上昇した。以降は△0.11%~△0.13%のレンジで推移。週後半は短国の発行が続いたが、レートが上昇する展開とはならなかった。SC取引では5年134回債・135回債のbidが多く、134回債は△0.10%台後半~△0.20%台前半の出合いが中心。135回債は週末の国債買入れオペ後△0.40%台半ば~△0.50%台前半の取引が見られた。その他2年383・384・385回債、5年133回債、10年340・341・342・346・347・348・349回債、20年163回債、30年57・58回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。